

2021年6月26日

学校法人栗原学園
理事長 谷澤 満 殿

やまた幼稚園
園長 西山 麻奈美

2020年度の幼稚園の教育活動その他の運営の状況について自己評価を実施いたしましたので下記の通りご報告いたします。

記

1 評価項目

2020年度においては、重点目標及び目標達成のための遂行方法を次のように設定しました。

	客観数値基準	遂行方法
幼稚園 目標	IB認定校になる	<ul style="list-style-type: none">・ IB認定訪問の実施・ IB-PYPワークショップの開催・ 保育室内レイアウト変更、Learning pit を用いた保育活動・ オリジナル英語教材の開発・ Cambridge English 教材の試用
	年少入園希望者144名 及び未就園児入室者84名獲得	<ul style="list-style-type: none">・ 入園説明会の実施（毎週）・ 編集を率先して受入れる・ スイミング等の就学前教育の導入・ ブログやInstagramでの配信、ビタミンママ等の雑誌への掲載、StockSun社との提携・ グリーンライン車内アナウンスによる広報・ 推薦意向の向上に向けて、在園児の保護者に、hugnoteにて写真と文章での情報発信・ オンライン保育、Zoom個人面談・ 運動会Live配信・ 預かり保育の拡充(縦割りクラス編成)・ 課外教室の充実（バレエ教室、小学校受験準備クラス開室）・ 2歳児クラス開室
	常勤5名採用	<ul style="list-style-type: none">・ 実習生を受入れる・ HPからの問い合わせを施設見学に繋げる・ ブースに参加し施設見学に繋げる・ インターンを受入れる・ 非常勤から常勤に推薦する・ 母校訪問・ 中途採用

客観数値基準		遂行方法
	年長児からのBEYONDIA進級48名獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の実施 ・10月から年長にロボティクス導入 ・子どもが英語を好きになる活動 ・英語教員と信頼関係を深め、会話力を重視して、豊かな言語感覚を養うように努める
	ピアノ受講者60名獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の採用 ・オンラインレッスンの配信 ・発表会の開催 ・幼稚園オリエンテーション等でPR

*Customer Satisfactionの略。外部委託先からの報告書の語法に倣っている。質問項目の設計は外部専門機関を交えて行い、分析は当園で行う。

2 自己評価

2020年度の自己評価に関連する活動の実施状況は次の通りです。

通年	毎朝の輪読 毎月各部門の進捗管理
2020年4月	上期目標項目の設定 人事面談 上期キャリアアップシート(*1)の作成
5月	遂行方法について月次進捗管理
6月	遂行方法について月次進捗管理
7月	遂行方法について月次進捗管理
8月	遂行方法について月次進捗管理
9月	遂行方法について月次進捗管理 CS調査実施及び結果分析と評価(*2)
10月	上期キャリアアップシート提出 下期目標項目の設定 人事面談 下期キャリアアップシートの作成
11月	遂行方法について月次進捗管理
12月	遂行方法について月次進捗管理
2021年1月	遂行方法について月次進捗管理
2月	遂行方法について月次進捗管理
3月	CS調査実施及び結果分析と評価

4月	下期キャリアアップシート提出
	下期ワークショップ(*2) 2021年度上期目標項目の設定 人事面談 上期キャリアアップシートの作成
5月	設置者へ報告の提出(*3)

- *1 幼稚園全体、学年ごとの目標が設定された上で、各人毎の目標項目および遂行方法が設定される。目標の難易度、達成などは、人事考課における参照指標として用いられる。
- *2 CS調査の結果を踏まえて、今後の改善方策について検討を行う。
- *3 理事会および評議員会において提出する事業報告書の添付書類となる。

3 評価結果

上記1の目標項目の結果は次の通りです。

客観数値基準			
		目標	実績
幼稚園 目標	IB認定校		達成
	年少入園者	144名	144名
	未就園児入園者	84名	90名
	常勤採用	5名	6名
	年長児からのBEYONDIA進級	48名	12名
	ピアノ受講者獲得	60名	57名

年少児144名の園児獲得に向けて上記の取組をいたしました。取組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針と目標を明確にすることができ実践する礎とすることができました。

園児募集に関しては、園内見学会に参加した8割が在園児からの紹介であることから、相関が見られる推薦意向の向上を目指してIB教育のカリキュラムを編成して保育の質の向上を図り、国際バカロレアの認定校として公認されました。更に「自分で考え行動し、世界で活躍できる創造的な人財の育成」に取組みました。教職員が率先垂範することを重視して、緊急事態宣言中はICTを活用し、YouTubeやZoomを用いたオンライン保育を通して子どもたちの教育を続け、保護者には保育活動への理解に繋がりました。Zoom個人面談、Zoom参観、運動会のライブ配信なども実施し、お子さんの様子を直接ご覧いただくことは叶いませんでしたが、遠方の祖父母や弟妹のいるご家庭に喜んでいただきました。CS調査にある、当学園の職員は「自分で考え行動し世界で活躍できる創造的な人財」であるの項目に於いて、下期は「その通り」の回答は45.3%で、15%向上しています。CS調査の保護者コメントは発表会に対するものが多く、「人前で発表する事は苦手

なのですが、自尊心が育ってるのか、人前で臆する事なく、自分から発表会してる姿を見て成長してると思いました。」「先生が子供達の意見を傾聴し、子供達の意見を尊重し話し合いを大切にしている様子がとてもよく伝わります。」「ただ、発表会の準備や振り付けを決める際に先生が決めたことをするのはなく、どうしたらいいか子どもに問いかけて進めていただいている」などの評価がありました。

BEYONDIA進級は目標より大幅に下回りました。今後は2学期初旬に説明会を開催し、体験レッスン、オンラインレッスンなどを通して英語を続ける動機付けに繋がります。

4 改善方策

CS アンケートの結果を基に、今後の改善方策を検討し、次年度は次のような改善策を実施します。

4.1 評価項目の設定

目標		上期	下期	保護者コメント
推薦意向	園全体	39.4%	46.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・園が行動されているのは十分理解しているが、どこまで子どもに浸透しているか、幼児のため判断しにくかったため。 ・確定した情報をハグノートで配信するだけでなく、保護者からの問い合わせに関して園の方針や考えをしっかりと提示していただきたいです。 ・お勉強の時間や決められた遊びをする時間が多く、自由な時間が少ない
	未就園	36.9%	61.5%	
	3歳	43.2%	42.4%	
	4歳	45.4%	51.1%	
	5歳	25.5%	29.8%	
園児像の実現	園全体	28.1%	40.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・我が家の方針としても同じなので、自宅でもよくどうしたらよいと思う？と聞きますが、相変わらずわからないと答えます。 ・3歳児なので、今の発達段階では難しいと感じる。 ・考えさせる内容が難しすぎる場合もあるように感じる
	未就園	20.2%	38.1%	
	3歳	29.7%	41.8%	
	4歳	37.1%	44.4%	
	5歳	25.5%	36.2%	
当学園の職員は「自分で考え行動し世界で活躍できる創造的な人財」である(職員の実現度)	園全体	30.3%	45.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・園の方針の通りの指導が行われていることは理解しますが、まだ判断に迷うことが多い様です。今後の成長に期待しています
	未就園	32.1%	43.1%	
	3歳	27.9%	51.3%	
	4歳	40.2%	46.7%	
	5歳	25.5%	40.4%	

	その通り	何方かといえば その通り	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば違う	違う
推薦意向	46.2%	37%	12%	3%	0.6%
園児像の実現	40.7%	49%	9%	1%	0.3%
職員の実現度	45.3%	39%	15%	1%	0.5%

CS結果の保護者コメントを参考にし、情報発信について改善をします。何故「自分で考え行動し、世界で活躍できる創造的な人財の育成」が大切であるか、子どもの発達段階に応じた自分で考え行動する姿とはどういうものか、幼稚園で観察できた自分で考え行動している場面を保護者にHugnoteで文書、映像を活用して伝えていきます。今後の社会において「自分で考え行動し、世界で活躍できる創造的な人財の育成」が大切になる理由、その姿を引き出す活動とそのねらいを明確にします。オンラインワークショップを開催して保護者への情報提供、目標の共通認識に努めます。

4.2 情報発信の改善

伝達の間	発行頻度	担当	配布物、開示資料等
hugnote配信	年1回	園長 副園長 主任 学年主任	園のしおり 園及びクラスの取組
hugnote配信	毎日	各担任 英語教員	活動報告
オンライン ワークショップ	年1回	園長 主任	
各お便り	毎月	各担任	月の予定及び連絡事項 給食だより 保健だより
Zoom参観	5月 10月 2月	各担任	
Zoom個人面談	4月 7月 12月	各担任	発達指標 ポートフォリオ
運動会	10月	各担任	メイキングビデオ
発表会	3月	各担任	メイキングビデオ

また、これらの取組みを進めるにあたって、下期以降の指導計画に反映するようにします。

以上